

# 2014年度 日本アーカイブズ学会 総会資料

## 【 総会次第 】

### 1 開 会

### 2 会長挨拶

### 3 議長選出

### 4 議 事

- |                          |       |
|--------------------------|-------|
| (1) 2013年度活動報告           | (資料1) |
| (2) 2013年度決算報告           | (資料2) |
| (3) 2013年度会計監査報告         | (別紙)  |
| (4) 2014年度活動計画           | (資料3) |
| (5) 2014年度予算             | (資料4) |
| (6) 日本アーカイブズ学会登録アーキビスト報告 | (資料5) |
| (7) 規程改正                 | (資料6) |
| (8) 役員改選                 | (資料7) |
| (9) その他                  |       |

### 5 閉 会

#### <参考資料>

- ・会 則
- ・総会運営規程
- ・役員選出規程

2014年4月19日

日本アーカイブズ学会

The Japan Society for Archival Science: JSAS

## 資料 1

### 2013年度活動報告（案）…承認

#### 1. 大会、委員会、および研究集会等の開催・準備

##### (1) 大会の開催

2013年4月20日（土）、21日（日）の2日間、学習院大学を会場として開催され、受付人数で合計147名が参加した。

##### 1. 総会

- ・定足数確認時点で63名の正会員がおり、成立した（正会員数483名、定足数49名）。
- ・2012年度活動報告・決算報告・会計監査報告、ならびに2013年度活動計画・予算が採決（拍手）により承認された。

##### 2. 公開講演会

講演者：金 河元（キム・ハウオン）氏（韓国釜山・民主主義社会研究所所長）

演題：「韓国民主化運動史の叙述における史料のあり方」

##### 3. 自由論題研究発表会

###### 【会場1：北1号館401教室】

宇野淳子（國學院大學研究開発推進機構）

「音声記録のライフサイクル試論」

平野泉（立教大学共生社会研究センター）

「アーカイブズ学の基本概念と住民・市民運動記録」

古賀崇（天理大学）

「「オープンガバメント」時代の政府情報アクセスとアーカイブズに関する予備的考察」

大蔵綾子（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）

「諸外国における議会公文書館の設置及び法令等の制定に関する現状と課題」

###### 【会場2：北1号館201教室】

渡邊美喜（東京国立近代美術館）

「アートの領域における個人アーカイブズの深化と拡張—パウル・クレーの事例に学ぶ」

安江明夫（学習院大学非常勤講師）

「脱修復の思想と実践—敦煌文書の保存事例から」

齋藤歩（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻）

「アーカイブズ学に基づく近現代建築記録の編成と記述について

—RIBA 建築図書館オンライン目録と OAC の比較を通して」

阿久津美紀・広瀬真紀（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻）

「段階的資料調査の実践—エリザベス・サンダース・ホーム資料調査の現場から」

##### 4. 企画研究会

###### 【会場：北1号館401教室】

テーマ「放射線データアーカイブズの構築に向けて」

松本保（国立国会図書館電子情報部主任司書）

「国立国会図書館における東日本大震災アーカイブ構築の取組」

松尾美里（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻博士後期課程）

「アーカイブズ学から考える科学資料のアーカイビング」

伊藤好孝（名古屋大学太陽地球環境研究所教授）

「福島放射線測定データの現状とメタデータベース作り」

(2) 委員会の開催

2013年 4月 9日（火）学習院大学  
2013年 5月 7日（火）新橋事務所  
2013年 6月 4日（火）新橋事務所  
2013年 7月 2日（火）新橋事務所  
2013年 9月12日（木）新橋事務所  
2013年 10月 8日（火）学習院大学  
2013年 11月11日（月）学習院大学  
2013年 12月12日（木）新橋事務所  
2014年 1月16日（木）新橋事務所  
2014年 2月 6日（木）新橋事務所  
2014年 3月24日（月）学習院大学  
2014年 4月11日（金）新橋事務所

(3) 研究集会等の企画・開催

1. 第1回研究集会「砂川村のアーカイブズ—近代町村役場文書群の構造と内容—」

2013年11月17日（日）13時～17時に筑波大学文京校舎122講義室で、「砂川村役場文書研究会」との共催で開催された。参加者は30名であった。

【報告】

大石三紗子氏「砂川村役場の組織分析と文書群構造」

高江洲昌哉氏「砂川村兵事文書から見た文書管理制度確立期の特色」

富善一敏氏「明治期村役場文書の引き継ぎ—砂川村と愛媛県東宇和郡魚成村との比較—」

<まとめ>：今回の研究集会では、2009年以来東京府北多摩郡旧砂川村（現立川市）役場文書の調査研究を進めてきた砂川村役場文書研究会と共催し、砂川村役場の組織・事務分析及び文書群の構造、兵事関係文書簿冊の変化、他地域の引継目録との比較についての報告が行われた。同研究会代表の白井哲哉氏の司会の下、砂川村役場文書の管理制度の変遷、構造分析の手法、文書管理制度確立期を使用した意図とその問題点、保存空間の変遷など多様な論点につき、活発な討論が行われた。

2. 第2回研究集会「地域の中の学校資料とアーカイブズ」

2014年2月15日（土）13時30分～16時40分にキャンパスポート大阪ルームD・Eで開催された。参加者は46名であった。

【報告】

嶋田典人氏（香川県立文書館）

「学校アーカイブズの地域保存と住民利用」

城戸八千代氏・三浦寿代氏（尼崎市立地域研究史料館）

「尼崎における学校資料とレファレンス」

<まとめ>：今回の研究集会では、「さまざまな種類の学校資料を、地域の中でいかにアーカイブズとして保存・活用するか」という点に焦点を当て、上記2館の実践活動が報告された。フロアをまじえての質疑応答においては、学校沿革誌などの資料の所在を確認する必要性、学校の統廃合への対処を急ぐ必要性、効果的な資料保存のためのマンパワー確保の必要性など、多様な論点が提示され、学校資料をアーカイブズとして認識することの重要性が認識された。また、本集会は当学会としてはじめて関東地域を離れ、

関西地域で実施した研究企画であり、今後の学会活動の活性化の足がかりを構築できた点でも有意義な機会であったと考えられる。なお、日本アーカイブズ学会登録アーキビスト資格認定制度についても、参加者に資料を配付し、加藤聖文・学会事務局長より説明を行った。

### 3. レコードマネジメント／アーカイブズ全国大会「未来に繋ぐ記憶と記録」

日本アーカイブズ学会、記録管理学会、ARMA東京支部、日本画像情報マネジメント協会、企業史料協議会、電子記録マネジメントコンソーシアム（ERMC）、日本歴史学協会国立公文書館特別委員会との共催で、2013年9月29日（日）11時～17時15分に学習院創立百周年記念会館で開催された。

#### 【プログラム】

主催者代表挨拶

来賓ご挨拶

上川陽子氏（衆議院議員）、加藤丈夫氏（国立公文書館館長）

基調講演（1）喜連川優氏（国立情報学研究所所長）

「ビッグデータとアーカイブ」

基調講演（2）高山正也氏（前国立公文書館館長）

「今、記録管理とアーカイブズに何が望まれるのか」

テーマ討議（1）「持続可能な電子記録保存の課題と展望」

問題提起者：木村道弘氏（日本情報経済社会推進協会主席研究員）

テーマ討議（2）「レコードキーピング時代の人材育成について」

問題提起者：岡崎敦氏（九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻教授）

<まとめ>：ここ数年、我が国の企業や官公庁等における組織運営上の記録情報管理、さらには、それらの記録情報の内、歴史的文化的価値のある史料の保存と活用、という命題を取り巻く環境は従来にも増して大きく変化している。公文書管理法の制定、東日本大震災、さらにはビッグデータと呼ばれる情報の爆発的な増加等、影響は社会経済活動の広範囲に及び、対応にはあらゆる業界、学際的垣根を越えた取組みが必要である。また、国民共有の知的資源である公文書、地域の歴史を伝える民間史料、そして企業の競争力の源泉として活用される企業アーカイブズ等々、その社会的意義は広く一般の人たちにも認知されることが望まれる。今回、レコードマネジメント、アーカイブズに関わる実務家、研究者が一同に集い、これらの命題、課題に立ち向かう意志を共有する場として、“未来に繋ぐ記憶と記録”というテーマの下で全国大会を開催した。プログラムは基調講演とテーマ討議の二部構成とし、関連分野の最新の知見を吸収するとともに、具体的な題材について集中的な議論を喚起する有意義な機会となった。

#### （4）2014年度大会の準備

日本アーカイブズ学会2014年度大会（設立10周年記念大会）を、2014年4月19日（土）、20日（日）の2日間、学習院大学で開催することとし、以下のような内容で大会講演会、自由論題研究発表会、企画研究会の準備を進めた。

4月19日（土）【会場：学習院大学南3号館】

<総会>

<大会記念講演会>

大田昌秀（沖縄国際平和研究所理事長、元参議院議員・沖縄県知事）

「アーカイブズと私——沖縄県公文書館の設立を中心に」

4月20日（日）【会場：学習院大学南3号館】

<自由論題研究発表会>

橋本陽（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻）

「段階的整理のルーツとアーカイブズ処理の再検討：編成と記述の逆転」

徐有珍（ソ・ユジン）（筑波大学大学院図書館情報メディア研究科）

「地方公共団体における行政刊行物の管理・保存の現状と課題」

高岩義信・五島敏芳（京都大学総合博物館）

「湯川秀樹・朝永振一郎・坂田昌一各記念史料の整理とデータベース化およびオープンソースアーカイブズ情報システムによる公開」

清原和之（九州大学大学文書館百年史編集室）

「先住民の記憶の管理を担うのは誰かーレコード・コンティニューム理論の射程ー」

森顕登（九州大学大学院ライブラリーサイエンス専攻）

「太平洋戦争下の戸籍疎開ー原爆罹災二都市の事例ー」

元（ウォン）ナミ（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻）

「韓国における地方公文書館設立計画とそのプロセスーソウル特別市の事例を中心にー」

齋藤歩（学習院大学大学院アーカイブズ学専攻）

「アーカイブズ学に基づく建築レコードの記述についてーDACS の記述項目をもとに目録を分析する」

<企画研究会>

日本アーカイブズ学会設立10周年記念・企画研究会

テーマ「私たちの『アーカイブズ学』をとらえ直すー批判・検証・展望」

森本祥子氏（東京大学史史料室特任准教授）

「アーカイブズ学会の設立、その成果、そしてこれから」

松崎裕子氏（公益財団法人渋沢栄一記念財団実業史研究情報センター企業史料プロジェクト担当）

「企業アーカイブズを持続可能なものとする：日本的経営におけるアーキビストとは？」

坂口貴弘氏（京都大学大学文書館助教）

「輸入学問からその先へ：アーキビスト協会設立前後の米国におけるアーカイブズ原則の受容」

ファシリテータ：古賀崇（天理大学人間学部総合教育研究センター准教授）

## 2. 機関誌の発行

(1) 『アーカイブズ学研究』第18号（A4版、145頁） 発行日：2013年4月30日

### 【主な内容】

小特集：2012年度第1回研究集会「医療をめぐるアーカイブズ」

芹澤良子「医療史研究と史料ーハンセン病対策の事例から」

鈴木晃仁「昭和戦前期精神病院の症例誌について」

参加記：廣川和花・富田健司

論文：ペイタル・ホルスマン、エリック・ケテラール、ティオ・トマスン著、青山英幸訳  
「ダッチ・マニュアル入門：2003年米語版再版によせて（下）」

動向：日本アーカイブズ学会「日本アーカイブズ学会登録アーキビスト」資格認定制度創設の経緯について」

松尾美里「ユネスコ「デジタル時代の世界の記憶：デジタル化と保存」参加記」

書評：太田富康「中野目徹・熊本史雄編『近代日本公文書管理制度史料集中央行政機関編』」

研谷紀夫「NPO知的文化イニシアティブ編『デジタル文化資源の活用ー地域の記憶とアーカイブ』」

紹介：平野泉「マリア・バルバラ・ベルティニーニ著、湯上良訳『アーカイブとは何かー石板からデジタル文書まで、イタリアの文書管理ー』

高橋伸拓「長澤孝三『幕府のふみくら』

2012年度認定日本アーカイブズ学会登録アーキビスト名簿

(2) 『アーカイブズ学研究』第19号(A4版、139頁) 発行日：2013年11月30日

#### 【主な内容】

小特集：2013年度大会企画研究会〈放射線データアーカイブズの構築に向けて〉

伊藤好孝「福島放射線測定データの現状とメタデータベース作り」

松尾美里「科学資料をめぐるアーカイバルプラクティス：概要の紹介」

松本保「国立国会図書館における東日本大震災アーカイブ構築の取組」

論文：ノーマン・ジェイムズ著、森本祥子訳「イギリスにおける民間アーカイブズ：その保存へのとりくみ」

書評：桑尾光太郎「平井孝典『公文書管理と情報アクセス：国立大学法人小樽商科大学の「緑丘アーカイブズ」』

古賀崇「江上敏哲『本棚の中のニッポン：海外の日本図書館と日本研究』

宮間純一「箱石大編『戊辰戦争の史料学』

紹介：酒井麻子「神奈川県立公文書館編『陸前高田市被災公文書レスキュー報告書 2011-2012』、国立公文書館編『被災公文書等修復マニュアル』

2012年度日本アーカイブズ学会登録アーキビスト認定者の声

柴田知彰「登録アーキビスト資格制度の誕生と課題」

小根山美鈴「『日本アーカイブズ学会登録アーキビスト』で思うこと」

### 3. 学会普及および対外交流活動

#### (1) 海外関係機関との交流

広報・渉外担当が、主としてJSASが加盟する国際団体との調整・連絡にあたった。

##### ア. ICA (カテゴリーB会員)

2013年度年次大会は2013年11月20-24日、ベルギー・ブリュッセルにて開催されたが、委員間の日程調整がつかず派遣できなかった。

##### イ. EASTICA

2013-14年度、EASTICA理事に就任した。2013年度EASTICA総会は、中国・四川省にて2013年10月15-18日の日程で開催されたが、委員間の日程調整がつかず理事として出席できなかった。

#### (2) 国内関係機関との交流

##### ア. アーカイブズ関係機関協議会での意見交換

2014年1月16日(木)に国立公文書館において協議会を開催した。特定秘密保護法および登録アーキビスト資格制度について報告を行った。

#### (3) 共催・後援行事

ア. 5月15日(水)～17日(金)、東京国際展示場にて開催された「自治体総合フェア2013」(一般社団法人日本経営協会主催)に、ARMA東京支部、記録管理学会と共同で展示ブースを出展した。

イ. 6月1日(土)～2日(日)、金沢市で開催された2013年度アート・ドキュメンテーション学会年次大会：シンポジウム「近現代日本工芸・デザイン史のドキュメンテーション」の後援を行った。

ウ. 9月29日(日)、学習院大学にて、日本アーカイブズ学会、記録管理学会、ARMA東京支部、日本画像情報マネジメント協会、企業史料協議会、電子記録マネジメントコンソーシアム(ERMC)、日本歴史学協会国立公文書館特別委員会との共催で、レコードマネジメント/アーカイブズ全国大会「未来に繋ぐ記憶と記録」を開催した。

#### (4) 学会活動紹介

ア. 12月28日NHK「ニュース7」にて「公文書の専門家 日本でも資格認定始まる」として学会登録アーキビスト制度が取り上げられた。

#### (5) 社会連携

ア. 日本物理学会との間で福島原発事故放射線データの保全を図るためのワーキンググループを立ち上げ、10月30日付で日本物理学会と共同で「福島第一原発事故に関わる放射線測定データの保全と後世へのアーカイブズ化を」を表明し、Webで公示した。

また、日本学術会議内に小委員会を立ち上げ、当会から石原副会長・早川委員が参加することになった。

イ. 11月15日付で「特定秘密保護法案」に対する意見表明を行い、Webで公示した。この意見表明は、『毎日新聞』(11月20日付)にて取り上げられた。

### 4. 規程類の整備

(1) 「日本アーカイブズ学会登録アーキビストに関する規程改正案」および「投稿規程改正案」を策定した。(資料6参照)

### 5. 事務業務

#### (1) 事務内容

ア. 会員関係事務(入会受付、会員名簿管理、会員への連絡など)

イ. 会計事務(会費徴収、活動経費の支払いなど)

ウ. 総会・大会・委員会準備、実施、議事録作成

エ. 記録・アーカイブズの管理

オ. 広報および普及活動

カ. 他団体との交流関係事務

#### (2) Webサイトの維持管理

ア. Webサイトでの情報発信の充実と情報更新の迅速化に引き続き注力した。

イ. Webサイトの更新

2013年度において、ニュースを中心に37件の更新を行った。

ウ. Webサイトのアクセス履歴(2013年4月1日~2014年3月31日)

ヒット総数373,804件、一日平均1024件、最大ヒット数1月40,454件

#### (3) 「日本アーカイブズ学会からのお知らせ」電子メールの配信

2013年度において、会告、主催・後援等の行事情報、関係諸団体・会員提供の各種情報、事務連絡等につき、28回の配信を行った。

### 6. 日本アーカイブズ学会登録アーキビストの認定について

(1) 「日本アーカイブズ学会登録アーキビストに関する規程」に基づき、10月1日から31日までの間、申請の受付を実施した。

(2) 2014年1月23日、資格委員会を開催し12名が学会登録アーキビストに認定された。

(3) 登録アーキビストには登録証および登録カードを発送した。

## 7. 役員・事務局員と業務分担（2013年3月31日現在）

2012年度総会において選出された18名の役員、事務局補佐4名により本会の活動を計画・実施した。

会 長	高橋 実	(日本アーカイブズ学会)
副会長	安藤 正人	(学習院大学)
	石原 一則	(神奈川県立公文書館)
委 員	青木 直己	(日本アーカイブズ学会)
	加藤 聖文	(人間文化研究機構国文学研究資料館)
	古賀 崇	(天理大学)
	研谷 紀夫	(関西大学)
	中谷 正克	(日本アーカイブズ学会)
	平野 泉	(立教大学共生社会研究センター)
	青木 祐一	(学習院大学)
	渡邊 佳子	(学習院大学大学院)
	渡辺 浩一	(人間文化研究機構国文学研究資料館)
	宮本 眞理子	(日本アーカイブズ学会)
	早川 和宏	(大宮法科大学院大学)
	富善 一敏	(東京大学経済学部資料室)
	宮間 純一	(宮内庁書陵部宮内公文書館)
	和田 華子	(日本アーカイブズ学会)
	宇野 淳子	(國學院大学研究開発推進機構)
監 事	水口 政次	(日本アーカイブズ学会)
	佐藤 勝巳	(戸田市教育委員会)
事務局補佐	久保田 明子	(学習院大学大学院)
	佐藤正三郎	(米沢市上杉博物館)
	平井 孝典	(日本アーカイブズ学会)
	橋本 陽	(学習院大学大学院)

- ① 研究担当：安藤・古賀・研谷・渡辺浩・青木祐 ◎大会・研究集会の企画・運営
- ② 編集担当：青木直・富善・和田・宮間 ◎会誌の企画・編集・発行
- ③ 広報渉外担当：平野・宮本 ◎ICA等との連絡及び海外招聘者の対応・学会の対外向け広報活動
- ④ 資格制度担当：石原・中谷 ◎資格制度創設準備・資格制度スタート後の審査体制のサポート
- ⑤ 法制組織担当：早川・渡邊佳 ◎学会の法人化に向けた準備
- ⑥ 事務局担当：加藤（事務局長）・宇野・久保田・橋本・平井・佐藤 ◎学会事務業務全般・経理事務

## 8. 会員数（2014年3月31日現在）

正会員505名（うち学生83名） 賛助会員21団体



## 資料 2

## 2013年度 決算書(案)…承認

歳入

単位:円

項目	予算額	収入済額	比較増減	備考
繰越金	1,782,466	1,433,146	△349,320	前年度繰越金、会計調整
会費	2,000,000	1,627,000	△373,000	個人 1,577,000 円 賛助 50,000 円
参加費	100,000	93,500	△6,500	
寄付金	0	0	0	
売上金	130,000	228,000	98,000	会誌
雑入	50,000	65,098	15,098	広告料、利息等:
資格審査・登録料	400,000	144,000	△256,000	資格申請登録料:
合計	4,462,466	3,590,744	△871,722	

歳出

単位:円

項目	予算額	支出済額	不用額	備考
総会・研究集会費	400,000	177,394	222,606	講師・アルバイト謝礼等
事務費	200,000	150,664	49,336	コピー、文具、郵送料等
印刷製本費	1,000,000	1,008,840	△8,840	会誌 18号・19号等
賃金	400,000	27,000	373,000	委員会運営補助謝金
委託料	200,000	120,761	79,239	Web 管理料等
負担金	100,000	0	100,000	ICA 会費等
学会推進基金	500,000	0	500,000	基盤強化のための積立て
事務所賃料等	450,000	391,330	58,670	賃料 (月 31,500) 等
資格審査・登録費	200,000	145,898	54,102	謝金、登録証作成等
予備費	1,012,466	0	1,012,466	
合計	4,462,466	2,021,887	2,440,579	

(歳入-歳出) 3,590,744 円-2,021,887 円=1,568,857 円 ⇒ 次年度繰越

学会推進基金	3,000,000 円	(別立て定期積金)
--------	-------------	-----------

上記の通り報告します。

2014年4月19日 日本アーカイブズ学会  
会長 高橋 実

## 資料3

### 2014年度活動計画（案）…承認

#### 1. 大会、委員会、および研究集会等の開催・準備

##### (1) 2014年度大会の開催と2015年度大会の準備

2014年度大会を2014年4月19日（土）・20日（日）に開催する。

2015年度大会を準備する（2015年春季開催）。

##### (2) 委員会の開催

月に一回程度のペースで委員会を開催する。

##### (3) 研究集会の企画・開催

研究集会を企画・開催する。また、首都圏以外での開催なども検討する。この他、2015年度大会における研究集会を企画・準備する。これらの研究集会は、研究報告、シンポジウム、および見学・研修、等々を行うものであり、本会研究活動の中心的な場とする。企画にあたっては次の諸点に留意するものとする。

ア. 会員が相互に課題を出し合い、学会活動の方向を模索・形成していくこと。

イ. 正会員と賛助会員の積極的な意見交換を通して、共通の課題を発見し、それに取り組むこと。

ウ. 大学等教育研究機関とも連携し、アーカイブズ学の教育・普及、およびアーキビスト養成を進展・充実させること。

エ. 隣接分野・新興分野、あるいは関連諸機関・団体と交流し、共通の課題を発見し、それに取り組むこと。

オ. 海外の研究者・関連団体と交流し、研究動向を把握しながら、国際的視野のもとに研究活動を企画・推進すること。

#### 2. 機関誌

##### (1) 機関誌『アーカイブズ学研究』の刊行

第20号を2014年5月に、第21号を2014年11月に発行する。

##### (2) 編集企画、投稿論文の審査事務、編集事務

機関誌の内容について、大会を含めた研究集会の成果を反映させる。アーカイブズ学研究の発展のために、原稿を広く募り、良質の論文掲載に向けて努力する。編集事務の効率化を図る。

#### 3. 学会普及および対外交流活動

(1) アーカイブズ関係機関協議会に参加し、情報交換および相互協力を進める。

(2) 2014年度EASTICA等アーカイブズ関係の国際会議への派遣を行う。

##### (3) 他団体との交流関係事務

アーカイブズ関係機関協議会など関係各団体との連絡を密にし、積極的な共催・後援活動を進めるなかで、協力関係の拡充を図る。

#### 4. 規程類の整備

会運営の効率化、事務遂行の安定化に向けて規程類の整備を引き続き進める。

#### 5. 事務業務

(1) 事務体制の整備

事務体制の充実と刷新を図る。

(2) Webサイトの維持管理

ア. Webサイトの更新

大会、研究集会、後援行事等の開催案内や機関誌の発行など、学会の活動とその成果に関する情報を速やかに発信していく。

イ. Webサイトの改善

さらに分かりやすく利用しやすいWebサイトを目指して、定期的な見直し作業を進める。

ウ. Webサーバーの維持管理

Webサイトによる情報提供が安全かつ確実にできるよう、セキュリティ対策やコンテンツのバックアップを実施する。

(3) 財務基盤の強化

今後の学会活動発展のため、引き続き経費支出の見直しを積極的に行うと同時に、会費納入率の向上に努め、財務基盤の強化を図る。

(4) 法人化に向けての準備

学会法人化に向けて検討を継続する。

6. アーキビスト認定制度

日本アーカイブズ学会登録アーキビスト認定制度を継続して実施する。Webなどを通じて積極的な広報に努める。なお、2014年度の申請は、10月1日から10月31日までを申請受付期間とし、2015年1月末までに審査および申請者への通知を行ない、3月末までに登録証の交付を行う予定である。

## 資料4

## 2014年度 予算書(案)…承認

## 歳入

単位:円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
繰越金	1,782,466	1,568,857	△213,609	前年度からの繰越金額
会費	2,000,000	2,000,000	0	個人 1,800,000 賛助 200,000
大会参加費	100,000	120,000	20,000	大会 100,000 雑費 20,000
寄付金	0	0	0	
売上金	130,000	130,000	0	会誌
雑入	50,000	50,000	0	広告料、利息等
資格審査・登録料	400,000	200,000	△200,000	申請者20名
合計	4,462,466	4,068,857	△393,609	

## 歳出

単位:円

項目	前年度予算額	本年度予算額	比較増減	備考
総会・研究集会費	400,000	400,000	0	講師・アルバイト謝礼等
事務費	200,000	250,000	△50,000	コピー、文具、郵送料等
印刷製本費	1,000,000	1,050,000	△50,000	会誌等
賃金	400,000	500,000	△100,000	事務局アルバイト（月40,000×12ヶ月）等
委託料	200,000	150,000	50,000	Web管理料等
関連機関協力費	100,000	150,000	△50,000	ICA会費・参加費等
学会推進基金	500,000	500,000	0	基盤強化のための積立て
事務所賃料等	450,000	450,000	0	賃料（月32,400）等
資格審査・登録費	200,000	80,000	120,000	謝金、登録証作成等
予備費	1,012,466	538,857	473,609	
合計	4,462,466	4,068,857	393,609	

## 資料5

## 2013年度認定 日本アーカイブズ学会登録アーキビスト名簿一覧

登録番号	申請者氏名	居住地	有効期間
JSAS2013001	青山 英幸	北海道	2014-2018
JSAS2013002	菅 真城	大阪府	2014-2018
JSAS2013003	荒木 清二	広島県	2014-2018
JSAS2013004	大木 悠佑	大阪府	2014-2018
JSAS2013005	重久 幸子	福岡県	2014-2018
JSAS2013006	大石 三紗子	神奈川県	2014-2018
JSAS2013007	石原 香絵	東京都	2014-2018
JSAS2013008	渡邊 美喜	神奈川県	2014-2018
JSAS2013009	永井 (松崎) 裕子	東京都	2014-2018
JSAS2013010	佐藤 正三郎	山形県	2014-2018
JSAS2013011	山口 信枝	福岡県	2014-2018
JSAS2013012	松村 光希子	東京都	2014-2018

## 資料6

## 日本アーカイブズ学会登録アーキビストに関する規程改正案…承認

2014年4月19日

現行規定	改正案	備考
(登録更新の申請)	—	—
第12条 登録アーキビストの登録更新をする者は、別表4に定める実績を有していなければならない。	—	—
2 登録更新をする者は、有効期限が終わる90日前までに所定の書類に更新審査料を添えて、本学会に申請しなければならない。	2 <u>前項の登録更新をする者は、登録の有効期限が満了する日の前年の10月31日までに所定の書類に更新審査料を添えて、本学会に申請しなければならない。</u>	「登録更新」の内容を明確にするため 登録更新の申請が、登録に係る資格委員会の開催に間に合うようにするため
3 登録更新をしようとする者のうち、海外留学、病気療養、出産その他登録更新をできないことにつきやむを得ない理由があると資格委員会が認めた者については、登録アーキビストの登録期間を延長する。延長の期間は、その理由に応じ資格委員会が定める。	3 <u>第1項の登録更新をしようとする者のうち、海外留学、病気療養、出産その他登録更新をできないことにつきやむを得ない理由があると資格委員会が認めた者については、登録アーキビストの登録期間を延長する。延長の期間は、その理由に応じ資格委員会が定める。</u>	「登録更新」の内容を明確にするため
4 前項の規定により登録期間の延長の承認を得ようとする者は、登録アーキビストの登録の有効期限が <u>終わる90日前までに理由を付した書面にて本学会に申し出なければならない。</u>	4 前項の規定により登録期間の延長の承認を得ようとする者は、登録アーキビストの登録の有効期限が <u>満了する日の前年の11月30日までに理由を付した書面にて本学会に申し出なければならない。</u>	資格委員会が毎年、年末あるいは年明け早々に開催される予定であることから、第8条の定める登録申請の審査、第13条の定める登録更新の審査、本条第3項の定める登録期間延長の承認を一括して行うため
5 第2項の書類および更新審査料の額は、会長が別に定める。	—	—

## 投稿規程改正案…2014年度継続審議

## (改正前)

(投稿原稿)「第3条 投稿原稿は、アーカイブズ学とその関連領域に関する未公開のものに限る。」

## (改正後)

(投稿原稿)「第3条 投稿原稿は、アーカイブズ学とその関連領域に関する日本語の未公開のものに限る。」

資料7

役員改選 2014～2015年度役員（案）…承認

会 長（定員1名）	石原 一則				
副会長（定員2名）	安藤 正人*	早川 和宏			
委 員（定員20名以内）	青木 祐一*	研谷 紀夫*	富善 一敏*	中谷 正克*	平野 泉*
	宮間 純一*	和田 華子*	平井 孝典	佐藤正三郎	加瀬 大
	藤吉 圭二	太田 尚宏	渡邊 健	坂口 貴弘	関根 豊
	倉方 慶明	太田 富康			
監事（定員2名）	水口 政次*	佐藤 勝巳*			

（以上。\*は再任）

（参 考）

以下は、2014年1月23日付会告による立候補者である。

1. 会長候補者（定員1名）

氏 名：石原 一則

居住地：神奈川県

略 歴：神奈川県立図書館（1977～1993）、神奈川県立公文書館（1993～2013）、学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻非常勤講師（2013～）

立候補の理由：日本においてアーカイブズ学の裾野を広げたい。

推薦者名：早川和宏・高橋実・安藤正人

2. 副会長候補者（定員2名）

(1) 氏 名：安藤 正人

居住地：神奈川県

略 歴：国文学研究資料館（1976～2008）、学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻（2008～）

立候補の理由：アーカイブズ学の振興に尽力したい。

推薦者名：早川和宏・加藤聖文・高橋実

(2) 氏 名：早川 和宏

居住地：東京都

略 歴：大宮法科大学院大学（2007～2013）、桐蔭横浜大学大学院法務研究科（2013～）

立候補の理由：自らの経験・知見を学会で生かしたい。

推薦者名：加藤聖文・高橋実・安藤正人

3. 委員候補者（定員20名以内）

(1) 氏 名：青木 祐一

居住地：千葉県

略 歴：学習院大学大学院人文科学研究科アーカイブズ学専攻（2012～）。

立候補の理由：日本におけるアーカイブズ学の発展に寄与したい。

推薦者名：宇野淳子・桑尾光太郎・齋藤歩

(2) 氏名：研谷 紀夫

居住地：大阪府

略歴：東京大学大学院情報学環（2007～2012）、関西大学総合情報学部（2012～）

立候補の理由：アーカイブズ分野における文化資源の電子化の動向を把握するとともに、日本におけるアーカイブズの発展に貢献したい。

推薦者名：宮本真理子・渡邊佳子・高橋実

(3) 氏名：富善 一敏

居住地：東京都

略歴：東京大学経済学部資料室（1999～）

立候補の理由：日本におけるアーカイブズ学の発展およびアーカイブズ機関との交流に貢献したい。

推薦者名：高橋実・石原一則・加藤聖文

(4) 氏名：中谷 正克

居住地：千葉県

略歴：日本銀行金融研究所アーカイブ（2011～2014）、千葉県文書館（2014～）

立候補の理由：日本におけるアーキビストの社会的位置の確保・向上を図るため、勤務経験を生かして、委員という立場から学会活動に参画したい。

推薦者名：富善一敏・宮本真理子・渡邊佳子

(5) 氏名：平野 泉

居住地：埼玉県

略歴：立教大学共生社会研究センター（2010～）

立候補の理由：学会活動の活性化に貢献したい。

推薦者名：早川和宏・宮本真理子・渡邊佳子

(6) 氏名：宮間 純一

居住地：東京都

略歴：宮内庁書陵部宮内公文書館（2013～）

立候補の理由：学会運営に現場の立場から貢献したい。

推薦者名：宇野淳子・橋本陽・富善一敏

(7) 氏名：和田 華子

居住地：東京都

略歴：国立国会図書館利用者サービス部政治史料課（2010～2013）

立候補の理由：学会の発展と会員間の交流の活性化に貢献したい。

推薦者名：石原一則・高橋実・加藤聖文

(8) 氏名：平井 孝典

居住地：北海道

略歴：小樽商科大学百年史編纂室（2001～2012）



立候補の理由：一会員としてさらに学会の運営に寄与したい。

推薦者名：加藤聖文・高橋実・早川和宏

(9) 氏名：佐藤 正三郎

居住地：山形県

略歴：野田市郷土博物館（2008～2013）、米沢市上杉博物館（2013～）

立候補の理由：アーカイブズの諸制度が未整備の地方にもアーカイブズ学の成果を役立  
つように分かりやすく伝え、地方での優れた実践やアーカイブズ資源を広く共有できる  
よう尽力したい。

推薦者名：加藤聖文・渡邊佳子・早川和宏

(10) 氏名：加瀬 大

居住地：神奈川県

略歴：東海大学学園史資料センター（2001～2007）・東海大学新聞編集部（2007～）

立候補の理由：企業団体史編纂の経験を学界発展に活かしたい。

推薦者名：橋本陽・宮本真理子・平野泉

(11) 氏名：藤吉 圭二

居住地：和歌山県

略歴：高野山大学（2004～）、全史料協近畿部会運営委員（2005～）

立候補の理由：アーカイブズ学の発展に貢献したい。

推薦者名：宇野淳子・宮間純一・冨善一敏

(12) 氏名：太田 尚宏

居住地：東京都

略歴：財団法人徳川黎明会徳川林政史研究所（1999～2011）、人間文化研究機構国文  
学研究資料館（2011～）

立候補の理由：日本アーカイブズ学発展のため尽力したい。

推薦者名：石原一則・安藤正人・古賀崇

(13) 氏名：渡邊 健

居住地：東京都

略歴：ARMA International 東京支部理事（2012～）、(株) データ・キーピング・サ  
ービス理事（2013～）

立候補の理由：日本のアーカイブズの発展に寄与したい。

推薦者名：渡邊佳子・石原一則・早川和宏

(14) 氏名：坂口 貴弘

居住地：京都府

略歴：国文学研究資料館（2007～2010）、京都大学大学文書館（2011～）

立候補の理由：アーカイブズ学の活性化と学会の運営に積極的に参加したい。

推薦者名：渡邊佳子・宇野淳子・加藤聖文

(15) 氏名：関根 豊

居住地：神奈川県

略 歴：神奈川県庁（2010～）

立候補の理由：アーカイブズ学の発展に貢献したい。

推薦者名：石原一則・宮間純一・橋本陽

(16) 氏 名：倉方 慶明

居住地：東京都

略 歴：東京外国語大学文書館（2012～）

立候補の理由：アーカイブズ学の発展に貢献したい。

推薦者名：高橋実・平野泉・宮本真理子

(17) 氏 名：太田 富康

居住地：埼玉県

略 歴：埼玉県立文書館（1986～1994、1995～2002、2006～）

立候補の理由：学会および日本のアーカイブズ制度の発展に寄与したい。

推薦者名：石原一則・高橋実・加藤聖文

#### 4. 監事候補者（定員2名）

(1) 氏 名：佐藤 勝巳

居住地：埼玉県

略 歴：戸田市教育委員会、全国歴史資料保存利用機関連絡協議会副会長

立候補の理由：日本アーカイブズ学会の進展に寄与したい。

推薦者名：安藤正人・富善一敏・宇野淳子

(2) 氏 名：水口 政次

居住地：神奈川県

略 歴：東京都公文書館、江東区政資料室

立候補の理由：学会の運営に寄与したい。

推薦者名：高橋実・石原一則・早川和宏

## 参考資料

# 会 則

## 目 次

前 文

第1章 総則

第2章 目的および事業

第3章 会員

第4章 役員及び事務局

第5章 会議

第6章 会計

第7章 記録の管理、公開及び保存

第8章 会則の変更及び本会の解散

第9章 関連諸規程

附 則

### 【前 文】

私たちは、日本のみならず世界に遺されたアーカイブズ、そして将来のアーカイブズとなる記録の生成、保存及び活用についての理論と技法を研究し、実践するため、この学会を創設することとした。

アーカイブズは、団体、家及び個人が作成し、收受し、保存されてきた記録からなり、手書きや印刷された紙媒体のもの、電磁的記録のもの、そしてオーラルヒストリーなどからなっている。

このアーカイブズに関する科学研究は、(1)アーカイブズの管理に関する研究、(2)アーカイブズの成立・構造・伝来などに関する研究、(3)アーカイブズの教育・普及に関する研究などから構成されており、歴史学、社会学、情報学など既存の様々な学問分野の学理と連携しつつ、独自の領域をもつものである。この科学研究は、アーカイブズの保存及び関連する諸課題の解決に資するという役割を担うものでもある。

また、この科学研究と同時に、アーカイブズの保存及び関連する諸課題に対する実践を、このアーカイブズの科学研究に関わるものは求められている。

アーカイブズに関する科学研究と実践を担うものとしてアーカイブズ学を構築し、アーカイブズの適切な生成、保存、活用による平和で豊かな民主社会の実現に資するため、この会則を制定する。

### 第1章 総 則

(名称)

第1条 本会の名称は、日本アーカイブズ学会（英文名 The Japan Society for Archival Science 略称 JSAS）とする。

### 第2章 目的及び事業

(目的)

第2条 本会は、アーカイブズに関する調査・研究を行い、わが国におけるアーカイブズ学の進展に寄与するとともに、アーカイブズ制度の発展に貢献することを目的とする。

(事業)

第3条 本会は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 研究集会及び総会の開催
- (2) 機関誌及びアーカイブズ関係文献の刊行

- (3) Webサイトの運営
- (4) 国内外の関係団体・機関との交流
- (5) その他必要と認める事業

### 第3章 会 員

(会員)

第4条 本会の会員の種類は、正会員及び賛助会員とする。

- 2 正会員は、本会の目的に賛同する個人とする。
- 3 賛助会員は、本会の目的に賛同し、その事業を援助する団体とする。

(入退会)

第5条 本会に入会しようとするものは、入会申込書に所定事項を記入して申し込み、会費を納めなければならない。

- 2 本会の退会は、退会の申し出による。ただし、正当な理由なしに会費を3年以上滞納した場合は退会したものとみなす。

3 本会の目的に反する行為のあった会員、または本会の名誉を著しく傷つけた会員に対しては、総会の議決によって会長は、退会を勧告することができる。

(会費)

第6条 会員は、当該年度の年会費を、通知された時期に納入するものとする。

- 2 会費の額は、総会の議決をもってこれを定める。
- 3 納入した会費は、これを返還しない。

(会員の権利)

第7条 会員は、次の権利を有する。

- (1) 総会への出席
- (2) 本会機関誌及び連絡・通信物の受領
- (3) 本会主催事業への参加

(正会員の権利)

第8条 正会員は次の権利を有する。

- (1) 総会における議決
- (2) 本会機関誌等への投稿
- (3) 本会研究集会における研究発表

### 第4章 役員及び事務局

(役員)

第9条 本会に、次の役員を置く。

- (1) 会 長 1名
- (2) 副会長 2名
- (3) 委 員 20名以内
- (4) 監 事 2名

(役員の仕事)

第10条 会長は、本会を代表し、会務を総括する。

- 2 副会長は、会長を補佐し、会長に事故ある時は、会長の責務を代行する。
- 3 委員は、会務を執行する。
- 4 監事は、会計を監査する。

(役員を選出・任期)

第11条 役員は、総会で選出される。

- 2 役員の仕事は、1期2年とし、再任は妨げない。但し、同じ役職では3期6年を上限とする。
- 3 任期途中で役員に欠員ができ、会務の執行等に支障を生ずるおそれがあるときは、これを補充す

ることができる。補充役員の任期は、当該役員の残任期間とする。

(事務局)

第12条 本会に事務局を置く。

2 事務局に専任の職員を置くことができる。

## 第5章 会議

(会議の種類)

第13条 会議は、総会及び委員会とする。

(総会)

第14条 総会は、本会最高の決定機関であって、この会則において別に規定するもののほか、次の事項を議決する。

- (1) 事業計画及び収支予算に関する事項
- (2) 事業報告及び決算の承認に関する事項
- (3) 委員会において総会に付議する必要があると認めた事項
- (4) 総会出席正会員から提案され、議案として認められた事項

2 総会は、年1回会長が招集して春季に開催する。この他、正会員の5分の1以上から書面で総会に付議すべき事項を示して総会開催請求があったとき、又は会長が必要と認めるとき、会長は臨時にこれを招集する。

3 総会は、正会員の10分の1以上の出席をもって成立する。

4 総会の議決は、出席正会員の過半数の同意による。

5 総会の議長は、出席正会員のうちから選出する。

6 総会の会議録は、議長が署名し、速やかに公開する。

(委員会)

第15条 委員会は、会務の執行に関する事項を審議決定する。

2 委員会は、会長が副会長及び委員を招集して開催する。

## 第6章 会計

(会計)

第16条 本会の経費は、会費、寄付金、事業収入及びその他の収入による。

2 本会の会計年度は、4月1日に始まり、翌年3月31日に終わる。

3 収支決算は、毎会計年度終了後、監事の監査を経て、総会に報告しなければならない。

## 第7章 記録の管理、公開及び保存

(記録の管理)

第17条 会務の執行等にあたっては、適切な記録の管理を行わなければならない。

(記録の公開)

第18条 本会の記録は、原則として公開しなければならない。

(アーカイブズの保存及び公開)

第19条 本会の記録のうち、永続的保存価値を有すると認められるものは、アーカイブズとして保存し公開しなければならない。

## 第8章 会則の変更及び本会の解散

(会則の変更)

第20条 本会会則の変更は、総会の議決を得なければならない。

(本会の解散)

第21条 本会の解散は、総会において正会員の3分の2以上の同意を得なければならない。

## 第9章 関連諸規程

(関連諸規程)

第22条 会務執行等に必要の諸規程は、別に定める。

附 則

(施行期日)

この会則は、2004年4月24日から施行する。

(施行期日)

この会則は、2008年4月19日から施行する。

(施行期日)

この会則は、2011年4月23日から施行する。

(施行期日)

この会則は、2013年4月20日から施行する。

(事務局)

事務局は、下記のところに置く。

〒105-0004 東京都港区新橋1-5-5  
国際善隣会館5階

## 参考資料

### 総会運営規程

(目的)

第1条 この規程は、日本アーカイブズ学会会則第14条に定める事項のほか、同第22条の規定にもとづき、総会の運営に関し必要な事項を定める。

(司会者)

第2条 司会者は、会長が指名し議長決定までの責任を持つ。

2 司会者は、仮議長となって議長を選出する。

(議長)

第3条 議長は1名ないし2名とする。

2 議長は、総会の秩序を保持し議事を整理して会議の運営と進行に責任を持つ。

3 議長は、会則第14条第3項により定足数を確認の後、総会の成立を宣言する。ただし、出席者が定足数に満たないときは、休息又は散会あるいは延会を宣言する。

(書記)

第4条 議長は、議事を記録するため出席正会員のなかから書記2名を指名する。

(発言者)

第5条 会議で発言する場合は挙手し、議長の指名を受けなければならない。

2 議長より指名を受けたときは、発言に先立ち、氏名を明らかにしなければならない。

(議案の提出)

第6条 会則第14条第1項第4号により提案をする場合は、次の各号による。

(1) 提案要旨を総会の30日前までに会長に提出しなければならない。

(2) 前号に定める期限以降に、緊急の事情により提案の必要が生じた場合は、総会開始までにその事由と要旨を会長に申し出なければならない。

(採決)

第7条 議長は、採決を行うときは、その旨を宣言する。

2 採決は、次の方法の一つとし、議長はその方法を会議に諮って採決する。

(1) 拍手

(2) 挙手

(3) 無記名投票

3 採決の順序は、原則として議案に対する否決、修正、賛成の順序で行う。

4 採決を行った場合は、議長はその結果を宣言する。

(発言停止、退場)

第8条 議長は、この規程に違反し、注意に従わない者を発言の停止あるいは退場させることができる。

(議事録)

第9条 総会の議事録には、次の各号に掲げられた事項が記載されなければならない。

(1) 開催日時及び開催場所

(2) 出席正会員数

(3) 議長選任の経緯

- (4) 開会宣言
- (5) 報告事項の概要
- (6) 審議事項の概要およびその審議結果
- (7) 閉会宣言
- (規程の変更)

第10条 この規程は、総会の承認を受けなければ変更することができない。

(その他)

第11条 この規程に定めるもののほか、総会の運営に関し必要な事項は、会長が定める。

附 則

(施行期日)

- 1 この規程は、2005年4月5日開催の第12回委員会の議決により暫定的に施行する。
- 2 この規程は、2005年4月23日から施行する。



## 参考資料

### 役員選出規程

(目的)

第1条 この規程は、日本アーカイブズ学会会則第11条に定める事項のほか、同第22条の規定にもとづき、役員選出の方法に関し必要な事項を定める。

(立候補)

第2条 役員に立候補しようとする者は、委員会による役員の改選又は補充の告示にしたがい、立候補する役職名とともに、その旨を委員会に届け出るものとする。

2 届出には正会員3名以上の推薦を要する。

(役員候補の決定)

第3条 委員会は、次の方法により役員案を総会に提案する。

(1) 立候補者は全員を総会に提案する。

(2) 立候補者数が前条第1項により告示された定数に満たない場合には、必要に応じて、委員会が本人の同意を得て選出し総会に提案する。

(総会による選出)

第4条 総会では次の方法により役員を選出する。

(1) 候補者数が第2条第1項により告示された定数と同数の役職は、総会運営規程第7条の規定に基づき選出する。

(2) 候補者数が第2条第1項により告示された定数を越える場合には、投票により選出する。

(投票)

第5条 投票は、第2条第1項により告示された定数に応じて、無記名連記方式で行う。

2 投票用紙は会場で有権者に配布された所定のものを用いる。

3 当選者は、役職ごとに得票数の多い者から当該定数を選出する。ただし、得票数が等しい場合は抽選によって順位を定め選出する。

(規程の変更)

第6条 この規程は、総会の承認を受けなければ変更することができない。

附 則

(施行期日)

この規程は、2005年4月23日から施行する。